

町政を問う!



再編後の利活用を早急に作るべき



まちの主役は町民です

学校再編を検討する上で、使い道のある校舎を空けていき、将来的に校舎を解体といった考えを持って、再編検討委員会に図つ



もりうら しげる
森浦 繁 議員

学校再編に伴う空き校舎 地域や保護者の意見や要望を伺っていきます

ていく必要があるのではないかと。

- ①学校再編検討は、どのような状況なのか伺います。
- ②空き校舎は、今後、時期を見て解体する考えはあるのか伺います。

町長 空き校舎の利活用検討は、町の公共施設利活用検討委員会は県を通して決定していますが、

検討に当たってはその手順を定めており、まずは所管課、それから、他の公共施設としての利活用の意向、これが一番です。次に、地域の意見や要望を把握して、有効な利活用方法があればその用途に転用していきます。そうでない場合は、サウンディング型、市場調査や、文科省のみ

な廃校プロジェクトへの登録を行って、民間事業者等による利活用を求めます。有効な利活用方法であると判断すれば、希望する民間事業者等に譲渡していきます。利活用も見込めない場合は、施設の解体を検討していきます。



まつおか だいご
松岡 大悟 議員

住民参画型の町政運営について問う 多くの町民の意見を反映させる事は大切

政策をつくりあげる過程で、住民の意見聴取など住民参加を求めてつくられた政策もあるが、住民参加にとどまらず、行政と住

民との意見交換や合意形成のもとでの政策計画立案や意思決定を行う住民参画の町政運営が行われているとは思いません。住民参画型での町政運営を町長はどのように考えているのか所見を伺う。

町長 町政運営への積極的な住民参加の重要性が一般に論じられてい

ます。町民の意見を直接伺う機会として、年一回ではあるが、各区で町政懇談会を開催しています。その他にも、まちづくり懇談会、町政へのご提案ご意見箱により町民のご意見を伺う制度も設けています。次期総合計画策定に向けて町民アンケート調査も行いました。さらに各区の住

民を対象としたワークショップを行っており、その開催に当たっては広報等を通じ、広く参加を募っています。行政と住民団体が連携して地域課題を解決し、まちづくりを行っていきます。

